

第66回全国植樹祭お手播き苗木の配布について

第66回全国植樹祭で天皇皇后両陛下にお手播きいただいた種から育成した苗木(お手播き苗木)が、植樹に適した大きさに育ったため、県内の公共施設等に広く「記念樹」として配布します。

〈樹種及び本数〉

天皇陛下お手播き苗木 : アテ 132 本、クヌギ 8 本
皇后陛下お手播き苗木 : ヤマザクラ 147 本、トチノキ 8 本 計 295 本

〈配布先〉

要望のあった県や全19市町の施設、国立・私立学校の119施設に配布し、各施設で植樹を実施します。

⇒県森林・林業関係施設 : 県森林公園、県民の森、健康の森、樹木公園 4施設
その他の県関係施設 : 県立大学、県立看護大学、県立高等学校など 19施設
市町の施設 : 市町立小中学校・高等学校、公園など 86施設
国立・私立大学等 : 北陸先端科学技術大学大学院、北陸大学など 10施設

〈配布時期〉

・クヌギ、ヤマザクラ、トチノキ : 平成29年5月8日(月)～5月10日(水)
・アテ : 平成30年3月5日(月)～3月7日(水)

〈配布場所〉

農林総合研究センター林業試験場(白山市三宮町ホ1番地)
※お手播き苗木育成場所

〈キックオフセレモニー〉

配布に先立ち、本県における緑化推進の中心的行事である「県民みどりの祭典」の式典で、来賓等による記念植樹を実施する予定。

⇒開催日時 : H29年4月29日(土・祝)
開催場所 : 県森林公園「緑化の広場」

森林管理課
森林企画グループ 向瀬
TEL 076-225-1642
(内線4810)

〈参考：樹種の概要と苗木の状況〉

○天皇陛下お手播きの苗木 【アテ】

能登地方を中心に植栽されており、昭和41年に「石川県の木」に指定されています。

材質は、きめ細やかで粘り強く、光沢と香気があり、心材、辺材ともに帯黄白色で優美です。白アリや腐朽に強く、材は「能登ヒバ」の名称で建築材として根強い引き合いがあるほか、伝統工芸である輪島塗の木地としても利用されています。昭和58年に津幡町で開催された第34回全国植樹祭において、昭和天皇によってお手植えされた樹種です。



H=0.3m



【クヌギ】

県内の里山に広く自生する落葉樹で、シイタケ栽培の原木、薪炭材として活用されています。本県では、茶道の菊炭用材として、活用の促進を図っています。

生長が早く10年ほどで利用でき、伐採しても切株から萌芽が発生し、持続的利用が可能な里山林を代表する樹種です。幹から豊富な樹液を出すため、夏になると多くの昆虫が集まります。

秋には、ドングリがたくさん出来、野生動物の重要な餌資源となっています。



H=0.8m



○皇后陛下お手播きの苗木 【ヤマザクラ】

桜の原種の一つで、北海道、東北の一部等を除く、全国の山地等に生育しています。

我が国では、古来より、農事を始める頃、野山に咲き始めるヤマザクラを田の神の宿の花と信じ、農事の目安としていました。今でも「田打ち桜」、「田植え桜」などと呼ぶことがあります。

サクラの仲間では、長寿の種で、国の天然記念物「松月寺のサクラ」(金沢市)は、樹齢360年以上で、隠居していた加賀藩3代藩主前田利常侯が松月寺に与えたものとされており、この桜を尊重し、藩主の行列でもこの樹下は槍を伏せて通行したと言われています。



H=1.4m



【トチノキ】

本県では、標高100m以上に広く分布する落葉広葉樹で、5月下旬から6月にかけて開花し、花は蜂蜜の蜜源に、実はトチ餅など食用に利用されており、県民に広く親しまれています。

木質は、芯が黄金がかかった黄色で、周辺が白色調。きれいな木目が出ることで多くテーブルなどの家具に活用されています。

国の天然記念物「太田の大トチノキ」(白山市)は、推定樹齢1,300年以上の巨木で幹周りが日本一と言われています。



H=0.5m

